

Doctor's Topics

ドクターズ・トピックス

Vol.14
2026



医療法人社団 仁徳会

くなが病院

オンライン予約

始めました



ごあいさつ

いつも当院の活動をご支援・ご理解いただきまして、誠にありがとうございます。当院では、新病院に向け続々と医師を招聘しております。病院全体としましては、救急に関して順調に応需することができ、入院についてはかなり充実したと自負しております。ただ、まだまだ沢山の医師を招聘している事実を皆様に知っていただけてなく、外来に関してはご利用が多くありません。そこでこの度、地域の皆様により安心して医療を受けていただけるよう、外来診療体制の充実に取り組むこととなりました。日常的な体調管理や健康相談はもちろん、急な体調不良やお困りごとが生じた際にも迅速な対応ができるよう、医療体制の強化を進めております。また、外来充実の一環として令和8年6月より患者様の利便性向上を目的として、今回のドクターズトピックスで特集を組んでおります「オンライン予約システム」を導入いたしました。これにより、ご自宅や外出先からでも簡単に外来診察予約を行なっていただけるようになり、これまで以上にスムーズな受診環境をご提供できるものと考えております。救急科に関しましても、救急科立ち上げ後救急の応需件数は年々増加しており、昨年は年間1,500件を超える救急の応需となりました。更に今年は4月より新たに長尾先生にもお越しいただき、救急科の体制も強化しており引き続きたつの市における救急医療に貢献できるよう努めて参ります。私たちは、地域の皆様の「かかりつけ医療機関」としてお子様からご高齢の方まで、全ての世代の健康を支える存在であり続けたいと考えております。日々の健康管理から、いざという時の医療まで、安心してご相談いただける病院を目指し、職員一同より一層努めて参ります。今後とも当院へのご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



医療法人社団 仁徳会

理事 徳永 憲威

目次

理事挨拶	1
目次	2
新任紹介	3
ドクター紹介	4
入退院支援について	5
オンライン予約について	6
消化器系疾患	7
ラパロ導入後の進捗	8
透析について	9
物忘れ外来について	10
救急について	11
診療報酬改定について	13
健診について	14





新任医師の紹介



総合診療・外科・救急科

長尾 宗英 医師

NAGAO MUNEHIDE

略歴

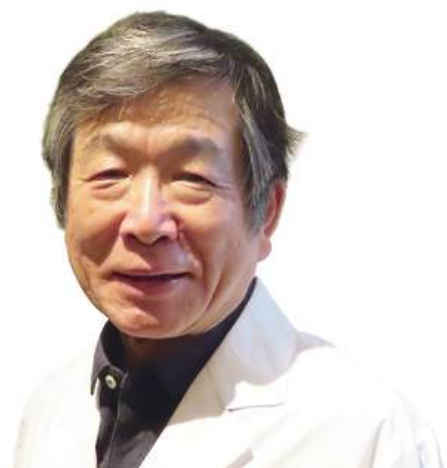
大阪市立大学卒

専門分野/一般外科・心臓血管外科

4月より、とくなが病院にて勤務することとなりました、長尾宗英と申します。
以前は、大阪にて心臓血管外科医として勤務しておりました。この度、たつのという地で縁があり、常勤として勤めることとなりました。地域に根ざした、Welcomeな病院作りの一端を担えるように尽力していきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



院長の紹介



院長 脳神経内科

横山 和正 医師

YOKOYAMA KAZUMASA

略歴

神戸大学医学部卒

専門分野/脳神経内科

仁徳会とくなが病院は、開院以来地域を支え、また支えられて、たつの市や西播磨地域に良質な医療サービスの提供に努力してまいりましたが、今後も関連施設とともに地元に必要な医療・福祉を地域の皆様と共に考え歩み、実現していくことを理事長以下職員一同一丸となって決意する次第です。



医師の紹介

TOKUNAGA HOSPITAL

新任紹介

ドクター紹介

入退院支援

オンライン予約

消化器系疾患

ラパロ導入後

透析について

に物忘れ外来

救急について

診療報酬改定

健診について

脳神経内科

平川 誠 医師

HIRAKAWA MAKOTO

略歴
金沢医科大学卒

専門分野／脳神経内科



私の内科医としてのサブスペシャリティは脳神経内科ですが、当院の院長が脳の変性疾患を中心に診ているのに対し、脱髄疾患など脊髄から末梢神経の領域がメインでした。過去形になっているのは、数年来、総合診療として外来診療に携わっており、どちらかといえば「神経も診られる内科医」になっています。大学の脳神経内科の医局では推奨されないスタンスですが、日常診療においては来院される患者さんに幅広く対応する姿勢は大切なのではないかと思います。今後とも皆様のご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願い致します。

麻酔科

浦田 義明 医師

URATA YOSIAKI

略歴
東京医科歯科大学

(現・東京科学大学) 卒



令和7年8月より、とくなが病院麻酔科に赴任しました、浦田義明(うらたよしあき)と申します。私は東京医科歯科大学(現・東京科学大学) 医学部を卒業後、東京医科歯科大学附属病院、国立がんセンター中央病院等で研鑽を積んでまいりました。約20年前に出身地である関西地方に戻ってきてからは、主に救急急性期病院に勤務し緊急手術にも積極的に対応してきました。今後は、手術件数の増加などの形でたつの市の地域医療の充実に貢献してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

消化器外科

濱田 徹 医師

HAMADA TORU

略歴
島根大学医学部卒

専門分野／消化器内視鏡



2025年3月から外科、消化器内視鏡検査、総合診療/救急外来を担当させて頂いております。今までの外科医としての臨床経験を生かして問口は広く、敷居の低い診療を心掛けて参ります。何卒よろしくお願い致します。

整形外科

振角 和利 医師

FURIKADO KAZUTOSHI

略歴
愛媛大学医学部卒

専門分野／外傷・上肢



当院に着任してから8年が経過しました。この間、様々な救急や手術に対応させて頂きました。今後もより一層、地域医療に貢献できるよう頑張ります。高齢化社会において骨粗鬆症による骨折は増加しています。一度骨折を起こすと、その後、著しく社会生活が損なわれることがあり、骨折の予防、すなわち骨粗鬆症の予防や治療が重要です。気になる方はお気軽にお越し下さい。

総合診療 外科 救急科

土井 正太郎 医師

DOI MASATARO

略歴
大阪市立大学医学部卒

専門分野／一般外科・
心臓血管外科・集中治療科



2024年1月からとくなが病院で常勤勤務することになりました。土井正太郎(どいまさたろう)と申します。専門は心臓血管外科ですが、集中治療分野、救急分野、一般外科、一般内科と幅広く携わってまいりました。これまで1000件以上の手術を経験し、500件以上の執刀を経験しました。私の使命はとくなが病院における救急医療集中治療の更なる向上です。地域医療に少しでも貢献出来ればと思いますので今後とも宜しくお願いいたします。

循環器内科

野田 信一 医師

NODA SHINICHI

略歴
京都府立医科大学卒

専門分野／循環器内科



2024年6月より当院に勤務させて頂いています。循環器疾患を中心に診療しています。循環器疾患については、以前は超急性期の診療にも携わっていましたが、最近は慢性期の診療が主となっています。又、ここ20年程は当院と同様の状況の病院に勤務しており、循環器疾患以外の様々な疾患の初期診断を行い、それに基づき必要な対応を行うことで地域医療に貢献してまいりました。当院においてもそのような経験を元に、当地域の皆様のお役に立つように診療に励む所存であります。何卒よろしくお願い致します。



入院支援室のご案内

当院では、患者様・ご家族様が安心して治療や検査を受けていただくために入院が決まりましたら、入院支援の看護師が患者様・ご家族様に必要な情報やご希望、不安などを聞き取り、入院目的に沿った説明を行います。「入院支援」は、入院生活のスケジュール表やパンフレットを用い、入院生活や治療・検査について、患者様にわかりやすい説明に努めます。また、退院後も入院前と変わらない生活を送れるように一緒に考えることで患者様・ご家族様が安心して入院できる環境を整えていきます。また入院に関する説明だけでなく質問やご要望にお応えし入院の準備をお手伝いさせていただきます。



入院に関してご不明な点がございましたら、いつでもご相談ください。スタッフ一同、心を込めてサポートします。



入院支援室の役割

- ① 入院の患者様が安心、安全な生活を送れるように、看護師をはじめ、薬剤師、医療ソーシャルワーカーなどが関わり、連携を取りながら支援します。
- ② 入院前の患者様の生活状況をお聞きし、生活上の注意点や入院準備について一緒に考え、患者様・ご家族様の入院に対する不安の解消を目指します。
- ③ 患者様一人ひとりにあった治療や看護が提供できるよう病棟看護師と連携に努めます。
- ④ 患者様が住み慣れた地域で安心して生活が送れるように、病院内の退院支援者と連携し、主治医や病棟看護師、地域医療・福祉関係者(かかりつけ医、訪問看護師、ケアマネジャー等)とともに支援します。



入院支援室業務内容

- ① 入院生活、治療スケジュールの説明
- ② 入院費用と入院の書類の説明
- ③ レンタルサービスについての説明
- ④ 日常生活について、入院中の治療や生活をより快適にするために、普段の生活についていくつかお尋ねします。
- ⑤ お薬の休薬について
「休薬」とは、治療内容により特定のお薬について、医師の指示でお薬を一定期間やめることです。治療や検査によって服用している薬剤を休薬する必要があります。また新しく始まる薬がある場合もあります。薬剤師から説明と確認をします。
- ⑥ 患者様が安心して治療を受けられるよう、院内はもとより地域の医療機関や福祉施設、ケアマネジャーと連携しながら必要な情報を適切に共有しています。

入院に関してご不明な点がございましたら、いつでもご相談ください。スタッフ一同、心を込めてサポートします。

入院支援室一同



予約

ご自宅から、スマホ・パソコンでカンタン予約!

オンライン予約のご案内

当院では、時間の短縮と混雑緩和のため、インターネットから診察のご予約ができます。

いつでも
かんたんに
予約が
できます!

.....インターネット予約のメリット.....



24時間受付

いつでもお好きな時間に
ご予約いただけます。
(メンテナンス時間を除く)



待ち時間を短縮

事前にご予約いただくことで、
院内の待ち時間の軽減に
つながります。



予約内容を確認・変更

ご予約内容の確認・変更・キャンセル
もインターネットで行えます。

.....ご予約の流れ.....

① 予約サイトにアクセス



下記のURLから予約サイトに
アクセスします。

② 日時を選択



ご希望の日時を選択します。

③ 予約完了



予約完了メールが届きます。
内容をご確認ください。

※メールが届かない場合は、
迷惑メールをご確認ください。

ご利用に必要なもの



インターネットに接続できる
スマートフォン・パソコン・タブレット



メールアドレス

※迷惑メール設定をされてる場合は、
受信設定をお願いします。

ご注意ください

- ・ご予約は診察のみとなります。
- ・診察内容についての問い合わせや、急を要する
ご相談はお電話にてご連絡下さい。
- ・予約の変更・キャンセルは、予約サイトまたは
お電話にてお願いします。

\\ご予約はこちらから\\

予約サイトURL



<https://www.jintoku-kai.or.jp>

お問い合わせ

受付時間

平日 8:00~17:00 / 土曜 8:00~12:00

0791-65-2232

診療科・担当医の詳細や休診情報などは
当院ホームページをご覧ください。

とくなが病院

検索

内視鏡検査を強化し、 早期発見・早期治療を目指します

胃カメラでは、食道がんや胃がん、十二指腸がんなどの悪性腫瘍をはじめ、逆流性食道炎、急性胃炎、慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、ピロリ菌感染症といった様々な疾患を早期に発見することが可能です。当院では最新の内視鏡システムを導入して、正確で安全な検査を提供し、内視鏡検査が苦手な方や初めての方でも安心して受けていただけるように配慮し、潰瘍やがんなどの疾患の早期発見に努めています。

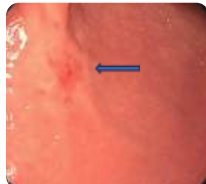
また、当院では胃カメラと大腸カメラを同日に受けていただけるほか、必要に応じて大腸ポリープ切除もその場で行います。胃の症状が気になる際は、ぜひ一度ご相談ください。



胃カメラでわかる代表的な疾患



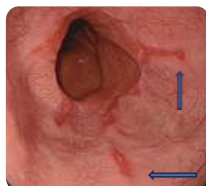
進行胃がん



早期胃がん
(矢印)



食道がん



逆流性食道炎
(矢印)

- | | |
|-----------|-----------|
| ・食道がん | ・胃がん |
| ・食道裂孔ヘルニア | ・急性胃炎 |
| ・逆流性食道炎 | ・胃、十二指腸潰瘍 |
| ・バレット食道 | ・胃ポリープ |
| ・食道静脈瘤 | ・胃粘膜下腫瘍 |
| | など |

苦痛を軽減する胃カメラ

経鼻内視鏡検査

鼻から細径の内視鏡を挿入することで、内視鏡が舌の根元に触れることがなく、嘔吐反射が起こりにくくなります。鼻にのみ麻酔をかけるため、検査中も医師や看護師と会話ができ、安心感を持って検査を受けられます。



嘔吐反射を軽減する細径内視鏡

鼻腔が狭い、鼻疾患のある方には、口からの内視鏡検査を提案しております。嘔吐反射が生じる原因は、内視鏡が舌の根元に触れることです。当院では細径内視鏡を使用しており、挿入時の不快感や嘔吐反射を最小限に抑えます。



注射麻酔薬を用いた眠ったままの検査

過去の経鼻内視鏡が苦痛だった方には、ご希望により、少量の注射麻酔薬を使用して眠ったまま内視鏡検査を受けることが可能です。これにより体質などで個人差はありますが「苦痛が少ない」検査ができ、嘔吐反射の強い患者様に特に有効です。検査後は安全に帰宅できるよう注射麻酔薬が完全に切れるまで休憩していただきます。また麻酔薬を使用した場合、検査当日の車・バイク・自転車の運転は不可となります。



.....このような症状がある方.....

- ・胸やけ、胸のつかえ・痛み、のどの違和感(痛み)、慢性の咳、口の中が酸っぱい、苦い
- ・胃もたれ・食欲不振・上腹部やみぞおちの痛み・貧血がある・黒い便が出た
- ・過去に胃潰瘍や十二指腸潰瘍になったことがある・40歳以上で一度も胃カメラを受けたことがない方
- ・健診や人間ドックのバリウム検査で異常を指摘された方・ピロリ菌を指摘された方

40歳を越えると、一般的に胃がんの罹患率が上昇するといわれています。胃がんは、早期発見・早期治療が何より重要です。年に一度は、当院での胃内視鏡検査をご検討ください。



鼠径ヘルニアの 腹腔鏡手術を開始しました

当院では2025年8月より麻酔科医の赴任に伴い全身麻酔が可能となり腹腔鏡下手術を開始いたしました。とくに鼠径ヘルニアは腹腔鏡下手術が適しており、当院導入後もすべての手術患者様において術中・術後の大きな合併症はなく経過しております。

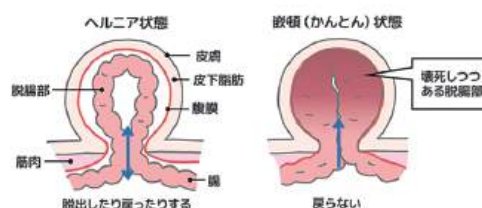
～鼠径ヘルニアについて～

加齢や立ち仕事、しゃがみ仕事を繰り返すことによって、太もものつけ根(鼠径部)の筋肉の隙間が大きくなって穴ができてしまい、おなかの中身が足側にぽっこり出てしまう病気です。俗に脱腸ともいわれています。この病気は中高年の男性に多く、男性の3～4人に1人が発症するよくある病気です。

～鼠径ヘルニアの症状～

- ・立ち上がった時お腹に力を入れると足の付け根が膨らむ
- ・膨らみやしこりは、体を横にしたり、手で押さえると元に戻ります
- ・通常は軽い痛みやつぶれ感が出る程度で、強い痛みはありません

鼠径ヘルニアは、日常生活に支障が少ない病気であることから軽視されがちな病気です。ただし自然に治ることはなく、また長期間放置をしているとふくらみは徐々に大きくなり、手術も難しくなります。また嵌頓(かんとん)という状態になると、脱出口で腸が締め付けられ血流が途絶えることにより腸の壊死に至ることがあるため、ひどい場合は緊急開腹手術で腸の切除が必要となることもあります。



～腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術について～

① お腹に小さい穴をあけ、そこから手術用の内視鏡と細い鉗子を挿入し、お腹の中から鼠径部にメッシュ(網の目状の人工補強材)を留置する手術を行います。傷はお臍と左右の下腹部の3箇所、5～10mm程度のものになります。



② 当院では、写真のポリプロピレン製のメッシュを用いています。



③ お腹の中から左鼠径部を確認すると、ふくらみの原因となっている筋肉の隙間にできた穴を認めます。



④ 腹膜の覆いをはがし、その下に写真のメッシュを敷き込み、適切な位置に専用の器具を用いて固定します。最後にはがした腹膜を縫い閉じて、手術を終了します。



この手術の長所としては従来の鼠径部切開法と比べ、このような点が期待できます。

・傷が小さい・痛みが軽い・回復が早い・早期社会復帰できる



当院では、肺や心臓に大きな病気をお持ちで全身麻酔を避けたほうが良い方、下腹部の開腹手術などで強い癒着が想定される方を除き、腹腔鏡下の手術をお勧めしております。従来の鼠径部切開法に比べ術後疼痛や再発率が低い傾向にあることがその理由です。また常勤麻酔科医の利点を生かし、安全性にも十分留意して治療を行います。具体的には、手術前に腹部CT、採血、心電図(必要に応じて心臓超音波検査も)、肺機能検査などを実施し、手術を受ける方の全身状態の評価を綿密に行うこととしておりますので、よりきめ細やかに安全に配慮した手術が可能です。どなたでも、気になる方はぜひ当院外科を受診してください。

地域とともに支える、安心の透析医療

～住み慣れた地域で、自分らしく暮らすために～

当科の特徴

01 安全で質の高い透析治療

最新の透析機器を導入し、13床という少人数制だからこそ実現できる患者様一人ひとりに寄り添った丁寧かつ適切な透析治療、また、透析患者様の負担やストレスの一因となる穿刺・回収時の待機時間軽減にも取り組み、スムーズな透析導入・終了体制を整えています。

02 多職種によるチーム医療

医師、看護師、臨床工学技士、管理栄養士など、多職種が連携し患者様を支えます。

03 総合病院ならではの包括的医療

透析治療だけでなく、内科疾患や外科、整形外科など、他診療科と連携し包括的サポートを実施。また、入院透析も対応しており患者様のこれからの生活に寄り添います。

04 通院透析のサポート

広範囲に対応した送迎体制に加え、細やかな送迎対応を実施。患者様一人ひとりの生活背景やライフスタイルに配慮し、「通いたくても通えない」を減らす透析環境づくりに努めています。



このような方はぜひご相談ください

- ☐ 腎機能低下を指摘された方
- ☐ 透析導入について不安がある方
- ☐ 通院や送迎に不安がある方
- ☐ 転院をご検討中の方

主な対応内容

- ☐ 保存期腎不全管理
- ☐ 維持透析管理
- ☐ 緊急透析
- ☐ 全台オンラインHDF対応
- ☐ 透析導入支援
- ☐ シャント管理・PTA対応
- ☐ 入院透析対応
- ☐ 他診療科連携による合併症管理

【地域医療機関の皆様へ】

当院では、地域の医療機関との連携を重視し、保存期から維持透析、合併症管理まで一貫した腎不全診療体制を構築しております。
外来透析導入相談、転院相談、緊急透析については随時ご相談ください。

脳神経内科の診療について

脳神経内科では、脳・脊髄や末梢神経に起こる病気を扱います。脳神経外科との違いは、脳外科では手術できる病気の対象ですが、脳神経内科は主に薬やリハビリで治療します。当科で対応する病気はたくさんありますが、今回は、認知症とパーキンソン病について説明します。



1 認知症

年齢と共に増えますが、認知症は単に老化ではなく脳の病気です。認知症を起こす病気はたくさんありますが、一番多いのは、アルツハイマー型認知症と血管性認知症で、最近ではレビー小体型認知症も増えています。

アルツハイマー型認知症

アミロイドとタウの2つのタンパク質が脳内にたまるために脳細胞が障害されて物忘れをはじめとする認知症状が進行すると考えられています。初期は物忘れだけにとどまっている「軽度認知障害(MCI)」と呼ばれる状態ですが、次第に物忘れだけでなく計算ができなくなったり、判断力も低下し、散歩に行っても自宅に帰れなくなったりします。大事なものを置き忘れて「誰かが盗んだ」と思い、警察に連絡するなど、生活上見守りを必要になります。初期には頭部CTやMRIには見かけ上変化はありません。最近、初期のMCIの状態の患者さんに対して脳にたまったたんぱく質のゴミを取り除く点滴治療が始まりました。この治療を受けるためには、各地域の専門病院(西播磨であれば、県立リハビリテーション西播磨病院)で精密検査を受け、治療の対象であると確認後点滴治療が開始され、一定期間後に西播磨の地域医療機関で点滴を継続します。当院も参加しておりますので、最近、「物忘れがひどい」と気になる方は一度当院を受診してみてください。点滴治療対象となりそうであれば、西播磨病院へ紹介させていただきます。

血管性認知症

脳梗塞や脳出血にかかった結果、認知症状が出ます。最近では、一回の大きな発作で認知症状が出る場合だけでなく、小さな梗塞や出血がたくさんできて徐々に症状が目立つようになるケースが増えています。血管性認知症では認知症状だけでなく身体症状もよく出ます。不安定で歩きにくい、あるいは、呂律がまわりにくいなどがよく見られます。治療としては、脳梗塞や脳出血の予防や再発を防ぐために、糖尿病や高血圧や脂質異常への対策が大事です。脳梗塞の再発予防に対して、いわゆる、血をサラサラにする薬である抗血小板剤の内服も標準治療です。

レビー小体型認知症

この病気では認知症にパーキンソン症状が伴いますので、歩きにくい、動作がのろいなど身体の症状が目立ち、幻覚などの精神症状も出現し、抗認知症薬や抗パーキンソン剤で治療します。

2 パーキンソン病



脳の運動神経組織の一部である「黒質」の神経細胞が年齢とともに衰え、手のふるえ、動作がのろくなる、歩きにくくなるなどの症状が徐々に進む病気です。姿勢も前かがみになり、単なる老化と似ていますが、脳の病気です。診断は診察でのみ可能で、血液検査、頭部CTやMRIでは正常です。現在でも「難病」に分類されていますが、次々と有効な薬が開発され、昔のように早くから寝たきりになることは大幅に減りました。また、リハビリも大変有効でパーキンソン病用に考案された介入方法もあります。



最近、体の動きが悪い、手が震える、歩きにくいなど、気になる方があれば、当院脳神経内科の受診をお勧めします。

救急医療・外科診療体制の充実について

2023年に私がとくなが病院へ赴任した当初、当院の年間救急応需数は231件でした。その後、院内スタッフの皆様のご協力のもと、2024年には689件、2025年には1,500件を超える救急応需数となり、大きく増加しております。また、救急応需率につきましても、赴任前は40%台であったものが、現在では年間80%以上を維持できるようになりました。私個人としても、99%以上の救急応需率を維持しております。

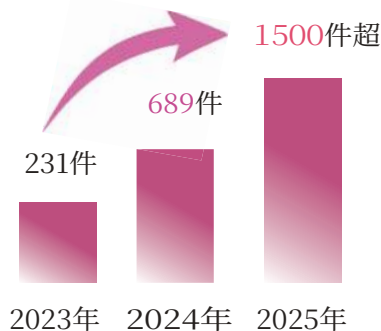
救急医療は一人の力で成り立つものではなく、看護師、放射線技師、検査技師、事務スタッフをはじめ、多職種の連携によって支えられています。今後も地域医療への貢献を使命とし、高い救急応需率と医療水準を維持できるよう、チーム一丸となって努力を続けてまいります。



総合診療 外科 救急科
土井 正太郎 医師

救急応需数と応需率の推移

救急応需数の推移



救急応需率の推移



★外科ニュース★

2025年夏、腹腔鏡手術に必要な機器をすべて最新モデルへ更新し、当院の外科手術体制を大幅に整備いたしました。これに伴い、本格的に当院での外科手術を開始しております。

現在は、3名の外科専門医と1名の常勤麻酔科専門医が在籍しており、安全性を重視した手術体制を構築しております。

手術日は月・水・金曜日ですが、外科外来は月曜日から土曜日まで毎日午前中に診療を行っております。手術開始以降、これまでに15件の全身麻酔下手術を施行いたしました。内訳は以下の通りです。

- 腹腔鏡下胆嚢摘出術：7例
- 腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術：3例
- 腹腔鏡下虫垂切除術：3例
- 消化管穿孔に対する小腸切除術：1例
- 下肢静脈瘤手術：1例



患者様の年齢は47歳から88歳までと幅広く、幸いにも現在まで全症例において重篤な合併症を認めず、皆様軽快退院されております。特に胆嚢摘出術については、全例が有症状の胆嚢胆石症に対する手術適応症例でした。現時点では手術件数はまだ多くありませんが、当院で安全に手術を受けていただける環境をさらに整備し、今後より多くの患者様のお力になれるよう努めてまいります。



学会参加報告

2026年4月23日から25日にかけて、第126回日本外科学会定期学術集会が札幌市にて開催され、参加してまいりました。外科医療は日々進歩しており、私たち外科医には、常に最新かつ最善の治療を患者様へ提供する責務があります。また、手術技術の向上にも継続的に努め、より安全で質の高い医療を実践していくことが重要であると考えております。手術医療は、診断を行う医師のみならず、病棟で術前・術後管理を担う看護スタッフ、手術室スタッフ、術後リハビリテーションを行う理学療法士など、多くの医療従事者の連携によって成り立っています。今後も密接な協力体制のもと、患者様により良い医療を提供してまいります。



最後に

たつの市・西はりま地域の皆様のお力になれるよう、今後も誠実な診療を心掛け、日々精進してまいります。外科診療に関するご相談がございましたら、ぜひ当院外科へご相談ください。また、近隣病院・クリニックの先生方からの患者様のご紹介も随時受け付けております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



令和8年度

診療報酬改定要約



1

物価や賃金、人手不足等の医療機関等を取り巻く環境の変化への対応

- ◆医療機関等が直面する人件費、医療材料費、食材料費、光熱水費及び委託費等の物件費の高騰を踏まえた対応
- ◆賃上げ・業務効率化・負担軽減等、業務改善による医療従事者の人材確保に向けた取り組み



2

2040年頃を見据えた医療機関の機能分化・連携と地域における医療の確保

- ◆患者の状態及び必要と考えられる医療機能に応じた入院医療の評価
- ◆「治し、支える医療」の実現
- ◆かかりつけ医機能の評価
- ◆外来医療の機能分化と連携
- ◆質の高い在宅医療の確保
- ◆医療従事者確保の制約が増す中で必要な医療機能を確保するための取り組み



3

安心・安全で質の高い医療の推進

- ◆患者にとって安心・安全に医療を受けられる体制の評価
- ◆アウトカムにも着目した評価の推進
- ◆医療DXやICT連携を活用する医療機関の評価
- ◆質の高いリハビリテーションの推進
- ◆重点的な対応が求められる分野(救急等)への適切な評価
- ◆感染症対策や薬剤耐性対策の推進
- ◆イノベーションの適切な評価や医薬品の安定供給の確保等



効率化・適正化を通じた医療保険制度の安定性・持続可能性の向上

- ◆後発医薬品・バイオ後続品の使用促進
- ◆薬剤自己負担の在り方の見直し
- ◆費用対効果評価制度の活用
- ◆市場実勢価格を踏まえた適正な評価
- ◆電子処方箋の活用や医薬協働の取り組みによる医薬品の適正使用の推進



医療機関の現状

政府の財政が年々厳しくなり、高齢化社会で国民の医療費や介護費がかさんでいく状況の中、政府は何年も前から保険医療費の削減を行ってきました。小泉改革によってそれはさらに加速し、全国の医療機関を減らすことも公言されてきました。日本の医療は全国どこどの病院でも同じ治療費になるように保険点数制が敷かれています。この保険点数が国の政策によって改定のたびに減らされてきました。結果として、医療従事者の給与は据え置きもしくは減額され他業種と比べて決して高い額ではなくなっています。そんな中、新型コロナウイルス感染症が世間に蔓延し世界中の医療従事者が感染症に立ち向かっている、そして私たちの生活に必要な存在だということが広く理解され医療費削減の流れは少し変わってきています。2年前の改定で「ベースアップ評価料」という制度ができ、医療従事者の給与を上げていこうという政府による意思表示がなされました。今回の改定でそれはさらに顕著になり、継続して職員の賃金を上げる医療機関には加算が与えられるようになります。これは我々医療機関の職員としてはありがたいことですが、近年物価高騰や保険点数の削減のツケによって全国各地で医療機関が閉鎖に追い込まれています。これに対応して物価高騰対応料といった点数が新設されています。それでも医療機関の運営は厳しい局面にありますので、厚生労働省や政府には一層の支援をお願いしたいものです。



AIの利用活用

我々の生活にも深く関わるようになっていくAI。医療機関でもそれは目に見えて起こっていて、取り入れることが出来れば便利な状況になっています。今回の診療報酬改定ではこれらAIの利用促進も盛り込まれています。指定された機能が含まれるAIを活用していれば、点数の加算や必要な人数が緩和される措置もあります。この流れはこれからも変わらず、むしろ加速していくことでしょう。



その他にも医薬品の物流が滞っている現状への対応や、多職種連携の推進などなど、様々な内容が改定されました。種々の変化へ柔軟に対応して、我々とくなが病院は皆様に良い医療を提供できるようにこれからも努力してまいります。

健康診断を受けましょう

各種健診ございます



- ・ 特定健診
- ・ がん検診
- ・ 特定化学物質健診
- ・ じん肺健診
- ・ 溶接ヒューム健診
- ・ 腫瘍マーカーなど

【etc.オプション多数あり】

健康診断価格案内



【法定健診価格案内】

・ 法定健診 9,570円

協会けんぽ加入で

・ 35歳以上 5,500円

(法定健診+便潜血+胃部検査)

・ 20/25/30歳 2,500円

(法定健診)

※価格はすべて税込です

事業者は、従業員に健康診断の実施が義務付けられています。
毎年1回、必ず実施しましょう。



健診のご相談・サービスのご案内

ご紹介割引はじめました！

【特典：初診料不要】

企業をご紹介頂いた場合、
受診人数に応じて割引をいたします。

巡回健診・来院健診

- ・ 巡回健診は10名様から受け付けております。
- ・ 夜間診療 [17:00~18:30]

お気軽にお問い合わせください

☎(0791)65-2232



外来担当医師一覧表

内科

総合診療

脳神経内科

外科

整形外科

健診

			月	火	水	木	金	土
午前診	9時～12時	1診 (整形外科)	振角 (整形外科)	振角 (整形外科)	振角 (整形外科)	担当医 (整形外科)	振角 (整形外科)	担当医 9:30～ (整形外科)
		2診 (外科)	濱田 (総合診療) (外科)	土井 (総合診療) (外科)	土井 (総合診療) (外科)	濱田 (総合診療) (外科)	長尾 (総合診療) (外科)	長尾 (総合診療) (外科)
		3診 (内科)	長尾 (総合診療)	竹上 (内科)	平川 (総合診療)	竹上 (内科)	濱田 (総合診療)	平川 (総合診療)
			健診 (予約制)	健診 (予約制)	健診 (予約制)	健診 (予約制)	健診 (予約制)	健診 (予約制)
午後診	14時～16時半	2診	横山 (脳神経内科)	横山 (脳神経内科)				
夜診	17時～19時		濱田 (総合診療)	振角 (整形外科)	土井 (総合診療)	森下 (内科)	長尾 (総合診療)	
			健診 (予約制)	平川 (総合診療)	健診 (予約制)	健診 (予約制)	健診 (予約制)	

<受付時間> 【午前診】 8:00～12:00迄 【午後診】 13:30～16:00迄 【夜診】 16:30～18:30迄

※受付時間以外の診療は時間外対応

		月	火	水	木	金	土
検査	胃・十二指腸内視鏡検査（午前）	濱田		濱田	濱田	濱田	担当医
	大腸内視鏡検査（午後）	濱田		濱田			
	超音波検査 心臓・腹部・他	検査科	検査科	検査科	検査科	検査科	検査科
リハビリ	運動療法（予約制） 物理療法	午前診	○	○	○	○	—
		夜診	○	○	—	—	—

2026年5月現在



医療法人社団 仁徳会

くなが病院

〒679-4109

兵庫県たつの市神岡町東鷺崎字鍵田473-5

TEL0791-65-2232

FAX0791-65-2235